

# 通知書

小田原労働基準監督署労災課及びその他職員の方へ

日々お忙しく業務に励まれている事と存じます。先日からイリヤ氏及び労災課の方には強羅花壇の労災申請及び休業給付申請について、文書での回答を求めてから11月30日という期限をこちらで設けましたが、何もご回答いただけないという事で次の手続きに入らせていただきます。

労働基準監督署の上の機関がどちらなのか分からない為、県、総務省等の行政相談窓口にはイリヤ氏とのやり取りの経緯から、ボイスレコーダー、小木曾氏のメール文書等事実を添付可能であればそのままメールでの添付し、ご回答いただけない事実を交えてお話をさせていただきます。

既に一度、県の窓口には個人情報を入力して、上申したつもりですが、返信の旨を確認できてないため。迷惑メールに入っているかもしれませんが。

公的機関含めてかなりの実害を被っているため、今後は時間がかかろうが一切引くつもりはありません。私的な見解ですが、多分この件全てこれから私が申し上げる事に付いて、いずれマスコミや各雑誌等、有名になるのは私も不本意ですが行きつく所まで行くのではと思っています。途中私に何かあった場合でも、各資料を分散させて保管してありますので、そちらの備えも整えてあります。

また、この際ですので過去小田原労働基準監督署に相談に行っても相手にしない、動いてもらえなかった事も含めて全て相談させて頂こうと思います。

日本郵政かんぼの宿箱根がまだ閉宿になる前に内部告発を小田原労働基準監督署に大量の資料とボイスレコーダーを持って行って親切に話を聞いて頂いたのはたった一人の白髪の老人の方でした。その後は、別の人間が煙たがるように対応すらし

## 2小田原労働基準監督署、関係者等への通知

てもらえなかった。私の弟、野田頭尊仁が小田原労働基準監督署に地元の会社で上司からの暴力事件で給料等支払ってもらえなかった時も、ろくな対応をしなかったのを鮮明に覚えています。給料の未払いに関しては労基署管轄のはずだと記憶しておりますが。

日本郵政の件でかなりの手続き等、各所奔走する事となった時、小田原ハローワークに至っては事情を話しても調査をするわけでもなく会社から来た書類で手続きするだけだからと逃げられ、「やめた理由等を覆したかったら自分で弁護士を立てて覆して」とはっきりと言われたこと。精査する気はないとの事で落胆しました。雇用保険の受給等色々何を根拠に手続きしていたりするのか、かなり理解に苦しみました。小田原年金事務所に至っては簡潔に言って「貴方の事情は知らないから手続きしてね」との事でした。リュックサックめいっぱい資料を抱えて持っていっても見ようともせず、取り合おうともしませんでした。どこの機関も部署も。

日研トータルソーシングに居た時には立川労基署に話を聞いて貰いに行っても、あなた方はお客さんじゃないからと自分の持論を述べて罵倒してくる始末。「やめたお前に何のメリットが有る？」と言われました。公的機関の方は雇用保険を貰うためのものだからとか、あとなんも関係ないと口を揃えて言いますが、年金の免除申請と各種申請等でやめた理由を聞かれたり審査の対象になっているような事を匂わせ、全ての公的手続きや審査等で尾をひいている始末です。

小田原労働基準監督所に関して先日も文章を送付させて頂きましたが、公的機関全ての間人ではないですが、平気で罵詈雑言を言える神経がわかりません。通常対応をして通常の業務を行って行けばここまでの騒ぎにはなるはずもないはずで

### 3小田原労働基準監督署、関係者等への通知

公的機関の人間にまで実害をいつまで被ればよろしいのでしょうか？イリヤ氏は都合のいいときは「お役所ですから」とそれ以外でも今までで一番罵詈雑言を言われ、手続きについては教えてもらえず、かなりの実害を被っています。

色々な手続きが尾を引いてその度に当時の資料を持ち出したりしなければいけない始末で、素人の私にとって法的な書類の作成はかなりの困難を極めます。ネットや専門書籍の購入で、行政機関の方との電話等をやり取りしながら書類を作成するのでも、確認や不備がないか素人が作成するのでも1枚仕上げるのに3hで終われば早い方で、それでも申請書で宛名を間違えると申請書そのものが通らなくてやり直したり、弁護士とのアポ取りから相談料の支払い、会社を休んだりの日程調整、交通費、受けてくれるかわからない相談、平日の忙しい時に公的機関に赴き、行けば罵倒され都合が悪くなれば「お役所ですから」とダブルスタンダードを持ち出され、「あなた方、私達の取めた税金でご飯食べてますよね？」と声を大にして申し上げたい。それでも、我慢して話を聞いていました。

繰り返しになりますが、今後は箱根町の健康保険課、小田原労働基準監督署の労災課及び監督所自身といった方がよろしいでしょうか。順番や内容は入れ替わるとは思いますが、責任を追求する方向で動いていきたいと思えます。愛知総合法律事務所所属の小木曾 裕子社労士にも責任を追求する予定です。

一度に全てを解決する弁護士は見つからないので、各行政のエキスパート、労働のエキスパート等に分けて法的対応を取っていききたいと思えます。

自分で言うのもおかしい話ですが、何で真面目に働いて一番実害を被り色々なものに追い詰められないといけないのでしょうか？虚偽報告、都合の悪い事はなかった事に。過去、会社勤めで脅しの類い等も現実珍しくも何ともなかった。無理難題を押し付けられるのは日常茶飯事で労働契約書の強制サインから書類の偽造等を受けたり、暴力行為や暴言を受ける事も珍しくありません、他にも例を上げればキリが

#### 4小田原労働基準監督署、関係者等への通知

ない。行政、民間含めてまともに業務を行っていただける方はいらっしゃらないのでしょうか。

真面目にやっている方にはかなりの迷惑な話ですが、これ以上の被害を被る気はありません。

各省庁や行政の相談窓口にも物的な事実、証拠になるかはわかりませんが、今回はとりあえず労災申請、休業補償申請に関する小田原労働基準監督所のやり取り、箱根町との担当者とのやり取り、愛知総合法律事務所の社会保険労務士小木曾裕子とのやり取りを提出させていただきます。そして、多くの人間が動いて大騒ぎになると思います。それなりの覚悟を私を含めて皆さんされた方が宜しいと思います。強羅花壇の担当者の様にだんまりを決めておけば嵐が過ぎ去る等とは思わない方が賢明です。

念押しでお伝えしますが、通知であって文章が届く頃には既に証拠等は提出済みと解釈しておいてください。後、手続きの不備等をついているだけであって違法行為を行え等は一切申し上げたつもりは御座いませんのであしからず。

イリヤ氏と小田原労働基準監督署の労災課に宛てた内容に関しても、困っている事、つまり法的な申請の期日はいつか？、手続きはどこまで進んでいて何をすればいいのか？責任はどう取ってくれるのか？等基本的なやり取りについてしか述べていないはずで。

繰り返し述べますが、「たとえ発覚した内容がどんなくだらない理由であろうと責任は追求させていただきます。」

通るかわからない労災申請ごときで「何頑張っちゃってるの？」

## 5小田原労働基準監督署、関係者等への通知

そう思う様な方がいるなら普通に証拠として出したものを精査して調べてください。その為にいろいろな物をシフト表から写真で取った現物をこちらにも出しているのですから。通常の手続きをして下さい。それで調べた上で駄目だと言うならこちらでも分かります。何もかもが尾を引いています。それに対する責任や賠償を行うのが嫌だと言うなら、私や家族が受けた実害やその後の月並みですが幸せを返して下さい。自分が悪事を働いたりして罰せられるなら納得・得心、理解は重々にするし受け入れます。自分で金額で換算して払えますか？

大切な人と笑ったり楽しんだり旅行をしたり、普通に「行ってらっしゃい」「いってきます」「ただいま」、「おかえり」を言う、そういう普通の日常を返して下さい。お金持ちでもなんでも無い普通の日常のはずです。今後は合法的にあらゆる手段を尽くします。色々な助けをこいながらも。山上さんみたいにはなるつもりはない。

完璧に対応しろとは申し上げるつもりは無いですが、少々対応の限度を超えていらっしゃるのではないのでしょうか？暴言を吐く必要ありますか？適当にあしらう様な必要がありますか？

私からイリヤ氏には小木曾を解任した時に労基署にイリヤ氏の所に訪ねた時の最後に耐えかねてポロツと「関係者全員をぶん殴ってやりたい」と言いましたけれど、そこままで抑えている点に感謝して頂きたい。昨今ツイッターで殺害予告をしてるなら警察に逮捕されても文句は言えませんが。

仕事でも何でも誰かを追い詰めるのが趣味なのではなく、誤魔化したり曖昧にするから追求したりしてるだけであって、そんなものが楽しくてやっている訳ではない。それによって何人の人間が不利益を被り巻き込まれているか。

当の本人は自分が助かる若しくは逃げたい一心なんだろうが、正直に言えば、わかった、すいませんでした、で済むが実際に自分で同じ状況で同じ事をされて実害

## 6小田原労働基準監督署、関係者等への通知

が延々と被ることを考えてい頂きたい。馬鹿な人間だけを処分される・するならいざ知らず、まともな人間も一色たんに巻き込まなければいけない何とも言えない下らなさや生産性の無さややるせなさ。

事実を元にして動いています。どう受け止めるかは自由です。関係者の誰も信用しておりません。私の提出したものが証拠たり得るのか、そうでないかは周りが決めてくれると思います。

また、当事者は自分が何をやっているのか考えて頂きたい。申し訳ないが、現状何もかもをひっくるめて引く気は無い。

12月1日に携帯電話に着信が2件程ありました。小田原労働基準監督署から。留守電に何も残さない所を見ると、録音されて困る内容を話す気であったと推察します。呆れました。自浄作用も自分で、自分達の組織で責任も取れないんですね。

申し開きの機会は何度も与えたつもりです。その全てを潰したのはあなた方自身で自。